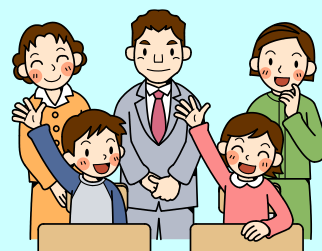


龍ヶ崎市の教育のさらなる充実と質の向上を目指して

本市では、以前より授業や部活動における先進的な人的支援を行い、教育環境の充実に努めてきました。また、地域の方々、さまざまなボランティアの方々からも、教育活動への協力・支援の提供をいただいています。これは本市の貴重な財産であり、教育活動の充実に大きく寄与しています。

さて、本市の小中学校の教職員の勤務時間数は、右の表のようになっています。令和3年10月の調査では約半数近くの教職員が文部科学省が定める指針（時間外勤務45時間以内）を超えています。中学校においては4人に1人が、厚生労働省が定める労働災害の認定基準とする「過労死ライン（※）」を超える状況です。

※厚生労働省が定める労働災害の認定基準。時間外勤務が月80時間を超えると健康障害リスクが高まるとされています。



時間外勤務調査結果

	45時間超	80時間超
小学校	40.1%	1.7%
中学校	49.0%	27.3%

令和3年10月調査

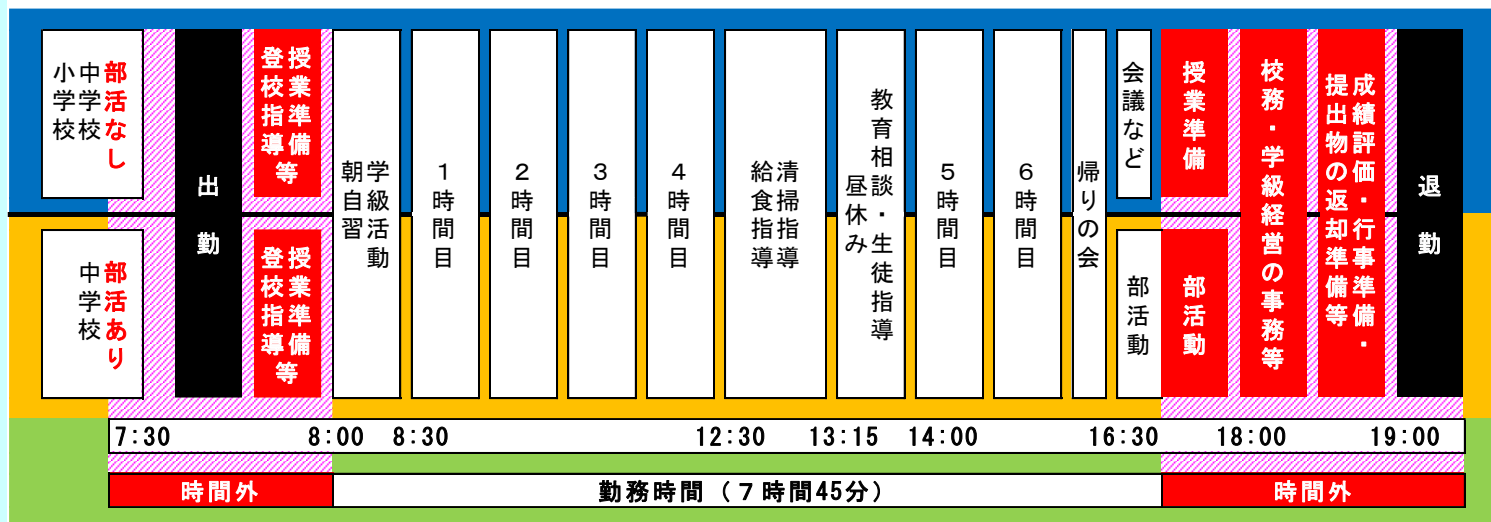
教職員が担う授業以外の業務は年々増大し、現在、学校では長時間勤務が常態化しています。このような状況下では、教職員が子どもと向き合う時間が減少することや、教職員の心身の影響等により質の高い教育活動の提供への影響が懸念されます。

本市の子どもたちに、質の高いよりよい教育活動を今後も継続的に提供するためには、教職員の本来の業務である授業や児童生徒の指導に専念できる環境を整えることが必要です。

教職員の働き方改革は、本市の子どもたちにとって学校教育のさらなる充実と教育の質の向上のための手段と考え、県教育委員会の指導のもと、龍ヶ崎市の教職員の働き方改革を進めています。

保護者、地域の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

◎教職員の1日のスケジュール（イメージ）



○龍ヶ崎市の教職員の勤務時間は、概ね8時から16時30分です。勤務時間内は授業や給食指導、教育相談や生徒指導などに従事しています。実際には、勤務時間開始前にも、授業準備や登校の見守り指導などの対応があります。勤務時間終了後も、会議や翌日の授業準備などが入っており、正規の勤務時間に収まりきれない状況にあります。

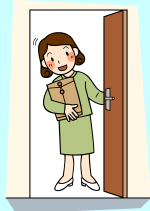
○「教職員の1日のスケジュール」の上段は、主に「小学校」や「中学校の部活動のない日」をイメージしたものです。下段は、部活動がある日をイメージしたものです。部活動指導を行う教職員は、部活動が終了し、生徒の下校後から授業準備や教材研究を行うことが多く、さらに長時間勤務となっています。



教職員の働き方を改善し、働きがいが高めることで 本市教育の質を高めることに挑戦します

教職員が担う勤務状況の実態を把握し、業務の見直し、教職員を支える体制の整備を進めます。ワーク・ライフバランスのとれた生活実現により、教職員の働きがい高め、心身共に健康な状態で教育活動に専念できる環境整備を目指します。

以上のことをとおして、本市学校教育の充実、質の向上につなげます。



【 目 標 】



時間外勤務の縮減へ

- 時間外勤務時間が月45時間を超える教職員ゼロを目指し、長時間労働による健康障害やメンタルヘルス不調予防に努めます。
- 市教育委員会と各学校とで教職員の勤務状況を把握し、「勤務時間」を意識した働き方を進めます。



質も高める働き方改革へ

- 教職員が教育活動に専念できる環境を確保することで、学校教育の充実、質の向上につなげ、児童生徒の「学びたい度(※)」の肯定的な回答の向上を目指します。

※「学びたい度」は、毎年実施される全国学力・学習状況調査の質問項目「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」の4項目の肯定的回答で算出。



教職員のワーク・ライフバランスのとれた生活を推進

- ワークライフバランスのとれた生活推進のため、年次有給休暇などの休暇が取得しやすい環境を整えます。
- 業務の平準化の観点から、平均ではなく、全員が年次有給休暇5日以上を取得を目指します。

文部科学省が考える学校・教職員の業務範囲について

これまで学校や教職員は、授業以外にもたくさんの業務を担っていましたが、文部科学省では授業以外の代表的な業務について、以下のような3つに整理をしました。

基本的には 学校以外が担うべき業務

- 登下校に関する対応
- 放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応
- 学校納入金の徴収・管理
- 地域ボランティアとの連絡調整



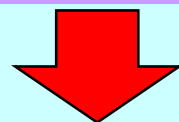
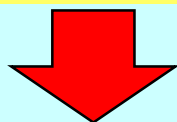
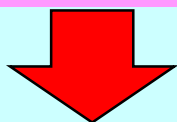
学校の業務だが、必ずしも教 員が担う必要が無い業務

- 調査・統計等への回答等
- 児童生徒の休み時間における対応
- 校内清掃
- 部活動
※地域ボランティアや部活動指導員等との連携



教師の業務だが、負担軽減が 可能な業務

- 給食時の対応
- 授業準備、学習評価や成績処理
- 学校行事の準備・運営
- 進路指導
- 支援が必要な児童生徒・家庭への対応
※外部人材や専門スタッフとの連携協力、一部業務委託



国や県の指導をもとに、教職員の働き方改革を推進（右頁参照）

本市がすすめている取組

登下校に関して

- 団体・地域等と連携した見守り体制の強化

学校徴収金に関して

- 口座振替による集金の実施
- 給食費の公会計化

部活動に関して

- 休養日、活動時間等を示した部活動指導ガイドラインの策定と遵守
- 部活動指導員のモデル配置
- 部活動指導の地域移行に向けた協議

支援が必要な児童・生徒への対応に関して

- 支援スタッフの配置
- スクールソーシャルワーカーの配置

授業準備、学習評価、成績処理に関して

- I C T機器の整備・充実
- 校務支援システムの整備

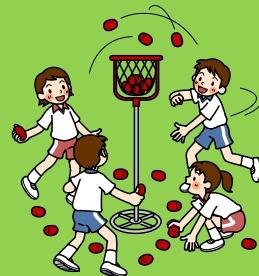
その他

●学校における業務の見直しの視点から

これまでの実績や慣例だけでなく、「育てたい児童・生徒の資質や能力」を軸に見直し、教職員の業務の明確化・適正化をすすめます。

- ・学校行事の見直し
- ・校内研修の精選
- ・朝の業務の縮減に向けた取組
- ・作品募集などの精選

など



●勤務時間の管理及び適正化をすすめる視点から

勤務時間管理を徹底し、ガイドラインが示す上限（月45時間、年360時間等）の実効性を高めます。

- ・勤務状況調査の徹底
- ・学校閉庁日を設定
- ・定時退勤日の設定
- ・留守番電話の設置
- ・小中学校での5時間授業の増加
- ・小学校における一斉下校日の増加
- ・小学校において教科担任制を導入し
教職員一人あたりの持ち時間を減少する

など



●教職員の意識改革の視点から

勤務時間を意識した働き方ができるよう、研修の充実を図ります。また広報活動を推進し、教職員の働き方改革への理解促進を図ります。

- ・働き方に関する研修
- ・時間外勤務縮減に向けた改善方針や計画の策定、見直し

など



【保護者・地域の皆さまへのお願い】

日頃から、本市教育にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
これからの時代を担う子どもたちが、地域の大切な宝として健やかに成長することは、全ての大人の願いです。

教職員の働き方改革のゴールは、教職員の業務改善ではなく、教職員と児童生徒とが向き合う時間を確保し教育の質を高めることを通して、子どもたちが健やかに成長することです。

そのためには、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら、協力して子どもたちに関わることが大切だと考えます。また、学校においては、子どもたち一人一人にきめ細かな指導を行うための体制づくりを進めることも必要であると考えます。

龍ヶ崎市では、今後も学校における働き方改革を進めてまいります。以下のことにつきましても、ご理解、ご協力をお願いします。

学校・家庭・地域で役割分担をし、連携・協力した取組をお願いします

- 学校、家庭、地域で、「目指す地域の姿や子どもの姿」などを共有するために話し合い、共通理解のもと、それぞれの役割と責任を果たしながら、子どもたちの学びや成長を支える取組を進められるよう、連携・協力をお願いします。
- 登下校時の通学路における安全確認や夜間の見回りなどは、地域の安全・安心を守る取組の一環として、これまで同様、関係機関・保護者・地域の方々と協力しながらの取組をお願いします。



連絡や相談は、学校がお知らせする時間内をお願いします

- 連絡・相談等については学校が定めた時間内をお願いします。子どもたちの生命や安全に関わるような重大事態時には、市教育委員会指導課までご連絡下さい。
- 教職員個人所有の携帯電話等への連絡については原則として行わないようお願いします。
- 学校閉庁日（教職員の勤務を要しない日）や定時退勤日に、ご理解、ご協力をお願いします。



部活動指導改革に関するご理解、ご協力をお願いします

- これまでも、中学校教職員の長時間労働の要因の一つとされる部活動指導については、部活動数の見直し、複数顧問制の導入など、様々な改革を行ってきました。今般、文部科学省より、中学校の部活動指導については「地域移行」をすすめる、教職員による休日の部活動指導時間を0（ゼロ）にという目標が発表されました。現在、本市では、どのような取組ができるのか、関係機関と協議を重ね、検討しています。今後、各学校やHPなどをとおしてお知らせします。ご理解、ご協力をお願いします。

